

若い世代が考える「節水の意義」

明田市立薬師中学校 二年二組

前岡里奈（まえおかりな）

私が生まれる前に引退しましたが、祖父は
ダム技術者でした。学生のころに伊勢湾台
風の被害を目にして、治水の仕事を志したそ
うです。時間があると、ダム建設時の苦労話
や、水の重要性などを教えてくれます。先日
は、昭和の福岡市渇水の話をしてくれました。
「昔は大変だ、たんたな。昭和に生まれなく

てよかった。な」と思っていていました
が、近年の気候変動による甚大な被害を考え
ると、令和の時代も水不足や水害と無関係で
はありません。むしろ災害が頻発しているの
で、今のほうがひどいかもしないと感じま
した。

そんな祖父は、水の無駄使いにとても敏感
です。蛇口を閉め忘れたり、水を流しっぱな
しにしたりすると、かなり厳しく注意されま
す。いつも優しい祖父が、このときだけは怖

い感じになります。祖父にしゃべられたから
か、父も水の無駄使いにうるさく、強く叱ら
れます。「そんなに怒らなくてもいいじゃない
か。」と思うくらいです。

祖父と父のおかげで、「水なんか蛇口をひ
ねればいくらでも出てくる」という思い違い
は、かなり早い時期に正されました。循環し
ているとはいえず、水は限りある資源です。無
限ではありません。皆が無節操に使えばなく
なってしまう。顔や手を洗うとき、歯を

磨くとき、シャワーで髪や身体を洗うとき、
食器を洗うときなど、蛇口をこまめに閉めて
節水を心がける必要があります。水道料金さ
え払えば、好き勝手に使ってもよいという考
えは、大きな間違いです。

節水の必要性は十分理解しているつもりで
すか、節水の啓蒙には疑問があります。なぜ
節水が必要なのか、よく分からないからです。
節水をうたう資料に目を通して、限りある
資源だから、節水が必要としか記されて

いません。なぜ節水が必要なのか、まともに
 説明していません。節水の方法をいくら
 紹介しても、理由がわからなければ、真剣に
 節水を実行できません。節水の理由が水の安
 定供給にあるなら、「ライフスタイルを急に
 変えることは難しい」(水の使用料を急に減ら
 すことは難しい)から、渇水時に備え、普段
 から節水する必要がある」と説明すればよい
 と思います。節水の理由が浄水施設維持費の
 高騰防止にあるなら、「水の使用量が増える
 と、浄水施設維持費が増え、単価で安定した
 水道料金を維持できなくなるから、節水する
 必要がある」と説明すればよいと思います。
 幼児、小学生向けであれば、「限りある資
 源だから、節水が必要」で問題ないと思いま
 すか、中学生にもなれば「その説明は変だな
 と感じます。節水が今一つ普及しないのは、
 節水する理由を明確に説明していないためで
 はないでしょうか。理由をはっきりさせれば、
 節水にもっと取り組みやすくなると思います。

私たちの生活は水に大きく依存しています。水がなければ生きていくことができません。令和元年度の日本の水道普及率は98.7%（厚生労働省）で、日本全国ほぼどこでも水道普及率1で、日本全国ほぼどこでも安全な水を飲むことができます。これはすごいことです。水道水をそのまま飲むことができる国は、世界で九カ国しかありません。国土交通省「平成30年版 日本の水資源の現況」）。しかし、このありがたみは平常

時には実感しにくく、命を落とす危険がある。でも汚れた水を飲むしかない人々の苦しさは、なかなか想像できません。

異常気象によって、過去に例を見ない災害が世界各地で発生しています。この動きはさすがには止みそうにありません。水道から水が出ない状況を想像するのは難しいけれど、激甚災害によつてライフラインが寸断され、蛇口をひねっても水が出ない日がいっ来てもおかしくないのです。実際、私自身は覚えてい

ませんが、東日本大震災のときには計画停電で苦労したと親から聞きました。電気同様、水道が出なくなる可能性も大いにあります。高度成長期に整備された水道管の老朽化が進み、水道インフラの維持が問題になり始めています。私たちが大人になるころには、さらに大きな問題となっていて、いることでしょう。安心安全な水の供給を維持するため、次の時代を担う私たちが率先して、水を大切にしながら暮らしていきたいと思えます。